

2020年06月25日

【格付維持】**三井住友海上火災保険**

発行体格付： AA [格付の方向性：安定的]

あいおいニッセイ同和損害保険

発行体格付： AA [格付の方向性：安定的]

コマーシャルペーパー： a-1+

三井住友海上あいおい生命保険

保険金支払能力： AA [格付の方向性：安定的]

三井住友海上プライマリー生命保険

保険金支払能力： AA [格付の方向性：安定的]

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付を公表しました。

【格付理由】

MS&ADグループは過去最大の元受保険金支払いとなった2018年度ほどではなかったが、2019年度も国内の台風などによりグループの国内の損保事業のコンバインド・レシオ(損害率と事業費率を合算した値)は95%を上回った。自然災害リスクの高まりで、再保険コストの上昇も含め収益性に下方圧力がかかっている。しかし、R&Iでは損保ビジネスは収益が振れる事業特性を反映し、単年度ではなく平均的な収益力を評価している。海外保険・生保事業の利益成長も加味すればグループの収益力はAAゾーンに見合っている。

コロナ影響なども踏まえて、2021年度までの中期経営計画で計画していたグループ修正利益を3000億円に下方修正した。強みのアセアンや海外生保の利益成長だけでなく、海外保険事業の柱である英子会社MS Amlinの収益改善により、定量目標の確実な達成ができるか注視していく。

2年連続の国内台風の影響や減損損失の計上、株価の低下による含み益の減少などマイナスの影響はあるものの、グループのリスク耐久力は格付に見合う。今後も株式保有リスクの削減や自然災害リスクのコントロールを継続していく必要がある。M&A(合併・買収)のアペタイトは相応に高いと考えられることから、ERM(統合的リスク管理)を継続的に強化し、中長期的にリスク耐久力を安定的に維持・改善していくことが重要だ。

なお、首都直下地震などのテールイベントが発生した場合、保険金支払いのみにとどまらず、株価の大幅な低下も想定される。その場合、リスクプロフィールを考慮すると格付の維持は困難になるとみられる。

○三井住友海上火災保険、あいおいニッセイ同和損害保険

MS&ADインシュアランスグループホールディングス(証券コード:8725)の100%子会社で、グループの損保事業の中核会社。格付はグループの信用力をそのまま反映している。MS&ADグループは個人・法人両分野で膨大な顧客基盤を抱え、グループの国内損保事業の収入保険料は首位。三井・住友両グループを中心に企業向け保険に強みを持ち、大株主のトヨタ自動車や日本生命保険との親密な関係も事業基盤の維持・拡大に寄与している。海外保険事業はアセアンの総収入保険料でトップにある。トヨタと連携してテレマティクス・モビリティサービス事業のグローバル展開を進めている。収益力向上と事業ポートフォリオ分散を意識し、海外生保分野への投資も積極的に実施している。グループ修正利益の中核となる国内損保事業のコンバインド・レシオは中計期間を通じて95%以下で安定的に維持する見通しだ。自動車の保有台数の伸びは今後期待しにくく、過去のような料率の値上げも難しくなっている。システム

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp
■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html>をご覧ください。

投資の効果が出るのは次期中期計画となる見通しだが、それ以前にも追加的な事業費削減などの取り組みや適正なプライシングにより、高い収益性を継続できるか注目していく。

○三井住友海上あいおい生命保険

MS&ADインシュアランスグループホールディングスの100%子会社で、グループの生保事業の中核会社。格付はグループ全体の信用力をそのまま反映している。グループの損保代理店網を活用した生損保の併売戦略を柱にマルチチャネルで展開している。収益性の高い総合収入保障保険や医療保険を中心に保有契約は順調に伸びている。法人向け保険の販売停止の影響はあるものの、低金利下でも収益力は良好だ。グループERMのもとでリスクとバッファのバランスは保たれている。ALM（資産・負債の総合管理）リスクの段階的な削減への取り組みにより、リスクプロファイルは改善方向にある。それでもなおリスク耐久力は金利低下の影響を受けやすい。新型コロナウイルス感染拡大を受け金融緩和の長期化が見込まれるほか、対面営業への制約により新契約価値の積み増しにも不透明感がある。今後の収束状況とともに、販売チャネルへの影響やALMリスク削減の取り組みを注視していく。

○三井住友海上プライマリー生命保険

MS&ADインシュアランスグループホールディングスが100%出資する生保子会社。金融機関を通じた資産形成型商品の販売に特化しており、グループにおける戦略的位置付けは極めて高い。格付はグループ全体の信用力をそのまま反映している。外貨建て資産形成型商品の販売に注力し、窓販専業での実績はトップクラス。一般に資産形成型商品の収益性は保障性商品に比べて低く金融・資本市場の影響を受けやすいが、保有契約の増加により利益の安定性を高めてきた。2019年からのグローバルな金利低下に新型コロナウイルス禍での対面営業自粛が重なり、当面の販売量は減少が見込まれる。特徴ある商品開発や代理店サポートの充実による差別化を継続し、中期的に新契約獲得能力を回復していけるかが課題だ。負債特性を踏まえて外国社債を中心としたALMを実施している。投資適格債券を主体に運用しているほか、グループも含めた資本は充実しており、安定した財務基盤を維持できるとみられる。

【格付対象】

発行者：三井住友海上火災保険

名称	格付		格付の方向性	
発行体格付	AA（維持）		安定的	
名称	発行総額 (億円)	発行日	償還日	格付
第1回利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債（劣後特約付）	1,000	2016年02月10日	2076年02月10日	A+（維持）
第2回利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債（劣後特約付）	500	2016年02月10日	2076年02月10日	A+（維持）
第3回利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債（劣後特約付）	500	2017年12月12日	2077年12月10日	A+（維持）
第4回利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債（劣後特約付）	800	2017年12月12日	2077年12月10日	A+（維持）
第6回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	1,000	2019年07月31日	2024年07月31日	AA（維持）

■お問合せ先：マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp
 ■報道関係のお問合せ先：経営企画室（広報担当） TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

発行者：あいおいニッセイ同和損害保険

名称	格付	格付の方向性		
発行体格付	AA (維持)	安定的		
名称	発行総額 (億円)	発行日	償還日	格付
第1回無担保社債 (劣後特約付)	220	2012年09月27日	2022年09月27日	AA- (維持)
第1回利払繰延条項・期限 前償還条項付無担保社債 (劣後特約付)	250	2019年09月10日	2079年09月10日	A+ (維持)
第2回利払繰延条項・期限 前償還条項付無担保社債 (劣後特約付)	250	2019年09月10日	2079年09月10日	A+ (維持)
名称	発行限度額 (億円)	担保・保証 保証会社等	格付	
コマーシャルペーパー	750	無担保	a-1+ (維持)	

発行者：三井住友海上あいおい生命保険

名称	格付	格付の方向性
保険金支払能力	AA (維持)	安定的

発行者：三井住友海上プライマリー生命保険

名称	格付	格付の方向性
保険金支払能力	AA (維持)	安定的

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

信用格付に関わる事項

信用格付業者 登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官（格付）第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。
主任格付アナリスト	三井住友海上火災保険、あいおいニッセイ同和損害保険： 中島 快 三井住友海上あいおい生命保険、三井住友海上プライマリー生命保 険： 肝付 卓也
信用格付の付与について 代表して責任を有する者	住田 直伸

信用格付を付与した日	2020年06月19日
主要な格付方法	事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2018. 05. 31] 金融機関等に共通する格付の考え方 [2020. 03. 23] 損害保険 [2017. 05. 18] 生命保険 [2019. 12. 25] 金融グループの格付の考え方 [2018. 08. 09] 規制資本商品等と金融機関等の格付の考え方 [2019. 12. 11] ハイブリッド証券の資本性の評価と格付の視点 [2018. 06. 08]
上記格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに以下のウェブサイトに掲載 しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html	
評価の前提は、以下のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html	
格付符号とその定義は、以下のウェブサイトに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html	
格付関係者	三井住友海上火災保険、あいおいニッセイ同和損害保険、三井住友 海上あいおい生命保険、三井住友海上プライマリー生命保険
注 格付関係者は、金融商品取引業等に関する内閣府令第三百七条に基づいて、R&Iが判断したものです。	
利用した主要な情報 品質確保のための措置	決算書類、開示情報、格付関係者から入手した情報等 公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保され ている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた 信頼性が確保されている情報であること。格付アナリストが妥当性を 判断した情報であること。
情報提供者	格付関係者
信用格付の前提、意義及び限界 R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約 定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債 務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何 ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来 の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその 他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項 について、いかなる保証もしていません。 R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これら の情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合 には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信 用格付を取り下げることがあります。	

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp
■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp
■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。